

富山県[立山博物館]平成27年度前期特別企画展

女性たちの立山

近世から近代へ……



図版・写真出典：立山曼荼羅大仙坊A本・宝泉坊本・日光坊A本・立山博物館B本、「富山日報」明治42年8月10日付「天の一方より」(13)・8月17日付「天の一方より」(24)、永和元年銘編尊像

時代を超え、立山に救いと癒しを求めた人びと……

平成27年7月18日[土]～8月30日[日]

富山県[立山博物館]展示館1階 企画展示室

[開館時間]午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) [観覧料]一般200円、大学生160円 [休館日]7月21日・27日・8月3日・10日・24日
●20名以上の団体は団体料金となります。●高校生以下の児童・生徒と障がい者等は観覧料が無料です。学校教育、社会教育で利用する児童・生徒の引率者は申請により観覧料が免除となります。

主催/富山県[立山博物館] 後援/北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ、**NHK** 富山放送局

平成27年度前期特別企画展

女性たちの立山

近世から近代へ……

立山曼荼羅には多くの女性の姿が描かれています。江戸時代、宿坊家の衆徒たちは絵解きをするなかで立山という場に根ざした女人救済思想を説き、救いを求める女人たちの心をとらえました。江戸時代後期には、立山に心を寄せた女人たちが、立山の山中や山麓の宿坊集落に血盆経や地藏菩薩像を奉納・寄進したり、立山へ参詣する動きが強まりました。一方、同時期には、立山信仰の世界とは別の次元で立山山頂に近づく女人の旅姿も目立つようになりました。女人もひとしく山頂間近の立山温泉に行けるようになり、万病治癒の温泉は男女群集の賑わいをみせました。日本各地の霊山と同じように立山は女人禁制の山でしたが、救いと癒しを求める女人たちを惹きつける霊山になったのです。

明治維新後、女人結界が撤廃され、立山と女性との新しい関係性の時代がはじまりました。女人禁制の因習は根深く残りましたが、夫婦や家族そろっての立山登山が行われ、明治期・大正・昭和戦前期の新聞・雑誌は女性のごくふつうに山頂までの立山登山をするようになった様子を生き生きと記しています。大正期以降には立山で女学校登山がさかんに実施され、近代における立山と女性との新しい関係性を象徴しました。

本企画展は女性にスポットをあて、近世から近代への時代の大きな転換期における立山と女性との関係性を探るものです。ともすれば歴史のなかで女性像は見えにくくなっているのですが、立山の歴史と文化を理解するためには女性への着目は欠かすことができません。展示を通して、立山の豊かな過去に思いをはせていただければ幸いです。

その他主な展示資料

- 延宝二年一山旧記扣(芦峯寺一山会蔵)
- 立山禪定人止宿覚帳(芦峯寺大仙坊蔵)
- 立山手引草(岩峯寺延命院蔵)
- 立山御嬭尊御宝前門鏡動進記(個人蔵、当館寄託資料)
- 女人講関係用具(当館蔵、国指定重要有形民俗文化財)
- 多枝原温泉新道作立由来(個人蔵、当館寄託資料)
- 大正七年立山登山案内図(富山市郷土博物館蔵)
- 文政三年立山御嬭尊別当奉加帳(愛知県半田市立博物館蔵)
- 寝覚の文(個人蔵)他

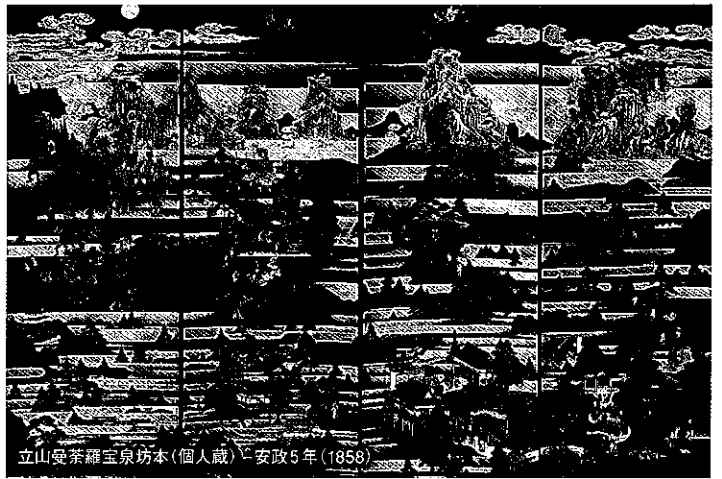
担当学芸員による企画展解説会

7月18日・25日 8月1日・15日・22日・29日
いずれも土曜日 午後2時～3時

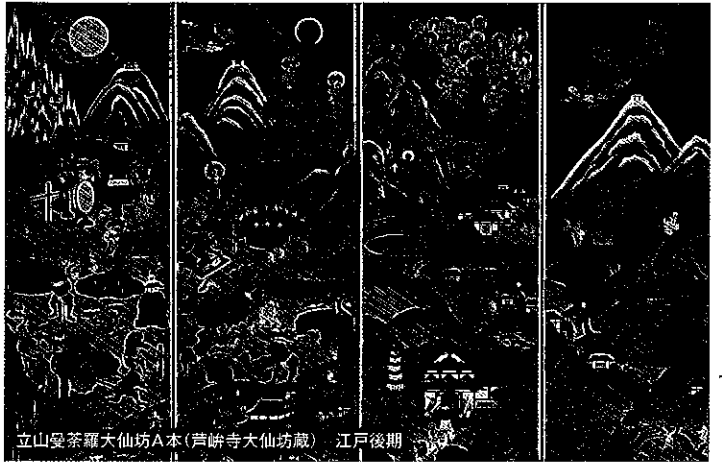


富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1 電話076-481-1216 FAX076-481-1144
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm>



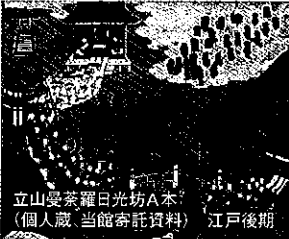
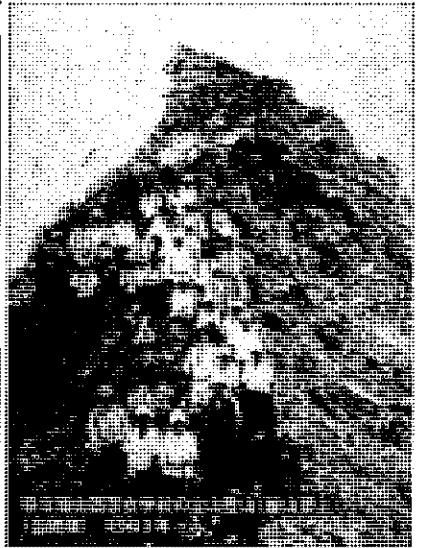
立山曼荼羅宝泉坊本(個人蔵) 安政5年(1858)



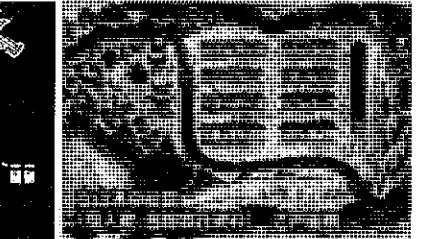
立山曼荼羅大仙坊A本(芦峯寺大仙坊蔵) 江戸後期



立山御嬭尊御宝前鏡(五百石天満社蔵) 寛政8年(1796)



立山曼荼羅日光坊A本(個人蔵、当館寄託資料) 江戸後期



【最寄り駅】
富山地方鉄道立山線
「千返駅」下車 徒歩約2km
※日曜日を除き、町営バス運行

【自家用車】
富山市内から約45分
富山地方鉄道
「立山駅」から約10分
北陸自動車道
「富山IC」から約95分
「立山IC」から約30分

